

2024年

中級教育カウンセラー
上級教育カウンセラー

資格認定試験要項
＜鹿児島会場＞

※養成講座開催要項に受験申込手続き方法が記載されています。

ご確認の上、お申し込みください。



特定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会

はじめに

いくつになっても受験はいやなものである。少なくとも私はそうである。能力をためされる弱者の立場になる屈辱もあるし、不合格を予想した恥ずかしさ・残念さという苦痛もある。にもかかわらず資格認定試験の実施にふみきったのはなぜか。クライアントが受けるかもしれない不利益を少しでも防ぎたいからである。

たとえば、それぞれの地域で有能とされている善意の人でも、「あれでも教育カウンセラーか」と評されることがある。それゆえ協会としては、教育カウンセラーがアセスメント、作業同盟、抵抗の処置、対抗感情転移への対応など基礎的概念を身につけているか、教育分析とスーパービジョンを受けるといった基本的体験を有しているかについて確認はしておきたい。これは市民の幸福になる権利を協会は守る責任があるという意味である。

したがって、受験希望者は「自分は何を知っているか、何を知らないか」「自分は何ができるか、何ができないか」を知った上で、クライアントに接するための自己点検に臨むのだと解して受験してほしい。

自己点検の範囲は『標準テキスト』の示す通りである。しかし、テキストだけの独学では自己流（くせの強い、自己盲点の多い）カウンセリングになりがちであるから、是非協会主催の研修会・勉強会に参加していただきたい。また、教育カウンセリング評論家に堕さないためにプラクティカルな本（問題解決志向）、たとえば『育てるカウンセリング全書』『教室課題対応全書』（図書文化刊）の通読をすすめたい。

最後に、この認定試験でスクリーニングしたい人物のイメージを示したい。曰く「カウンセリングの基礎的概念を体系的に踏まえた教育の専門家(a professional educator)」である。

特定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会
初代会長 國分康孝 Ph.D.

1. 日 程

中級および上級認定試験 2024年8月7日（水曜日）

中級認定試験	13時30分より	筆記試験・実技試験及び口述試験
上級認定試験	9時30分より	筆記試験・口述試験

※受験希望者が多数いらっしゃる場合、お断りすることがあります。
その場合至急ご連絡申し上げます。

2. 会 場

鹿児島県青少年会館（鹿児島市鴨池新町1-8）

※教育カウンセラー養成講座と同じ会場です。

3. 受験資格

次に示す要件をすべて満たしている方は受験できます。

※受講予定や発表予定は原則として認めません。

中級認定試験

- ① 2024年4月1日現在で当協会認定初級教育カウンセラーの資格を有する(*)者
- ② 教育カウンセリング関連領域での実践歴が5年以上ある者(教育学・心理学・医学・社会福祉学等、関連領域における修士以上の学位を持つ者はこの限りではない)。
- ③ スーパービジョンの記録が最低1ケース以上あり、記録票(様式 S-4-1)を提出済みまたはメ切までに提出できる者
- ④ 著作物(**)を1編提出済みまたはメ切までに提出できる者(発表済・未発表のいずれでも可)
- ⑤ 初級および中級の教育カウンセリング標準カリキュラムの内容を学習しているもの

(*) 教育カウンセラーの資格を有する者とは、すでに教育カウンセラー資格を認定され、会費の納入を済ませた者を指す。

(**) 著作物とは、教育カウンセリング関連領域に関する研究論文、実践報告、事例報告、分担執筆等による単行本等を示す。著作物は上記③のスーパービジョン記録票の補助資料となる実践報告、事例報告でよいとし、スーパーバイザーの評価が4以上であることを条件とする。

上級認定試験

- ① 2024年4月1日現在で当協会認定中級教育カウンセラーの資格を有する(*)者
- ② 教育カウンセリング関連領域での実践歴が7年以上ある者(教育学・心理学・医学・社会福祉学等、関連領域における修士以上の学位を持つ者はこの限りではない)。
- ③ スーパービジョンの記録が2ケース以上あり、当協会指定のスーパービジョン記録票を提出済みまたはメ切までに提出できる者
ただし、スーパービジョン記録票は、中級取得時のものを1ケースとして認める。
- ④ 研究論文を2編提出できる者(学会・学校外の研究会、支部主催研究発表会等、公式の場で発表済の論文であること。発表予定は認めない)
ただし中級取得時に提出した著作物を1編として認める。さらに中級取得時と同程度の著作物を研究論文として認める。

※上級試験要件④の「研究論文」の「未発表・発表済み」について：

- (1) 「中級取得時に提出した著作物」が、「実践報告」「事例報告」の場合、未発表でもスーパーバイザーの評価が4以上であれば、研究論文の1つに認める。ただし「研究論文」の場合は、発表済みのもののみを認める。
- (2) もう一つの研究論文についても、「実践報告」「事例報告」の場合、未発表でもスーパーバイザー評価が4以上であれば、研究論文として認める。ただし「研究論文」の場合は、発表済みのもののみを認める。

- ⑤ 構成的グループエンカウンターリーダー養成ワークショップエクササイズ係について

受験希望者は以下のAまたはBをいずれかを選択することができる。

A：JECA 本部または支部主催の構成的グループエンカウンターリーダー養成ワークショップに参加をし、エクササイズ係を担当した証明を今回の受験申込書に添付すること。

B：JECA 本部または支部主催の構成的グループエンカウンターリーダー養成ワークショップに未参加の場合、上級認定試験後に参加し、エクササイズ係を担当した証明を原則2年以内に本部認定委員会に提出することを必須の条件として受験可能とする。

ただし、2年以内に理由無く提出できない場合、上級認定は取り消しとする。

- ⑥ 初級・中級・上級の教育カウンセリング標準カリキュラムの内容を学習しているもの

5. 申込方法

受付期間：2024年7月19日（金）（本部必着）

受験申込書に必要事項を全て記入し、受験料振替手続きを済ませてから必要書類を全て添付し、簡易書留または宅配便で協会本部認定委員会宛にお送りください。なお、封筒表面の左下には、「教育カウンセラー資格認定試験受験申込書在中」と記載してください。

必要書類

- ① 資格認定試験受験申込書（履歴書部分）（JECA 様式 T-2）
- ② 資格認定試験受験申込書（受験票部分）（JECA 様式 T-2-06）
- ③ 受験票返信用封筒 **長型3号封筒に返送先住所・名前をお書きの上、344円分の切手を貼付してください**
- ④ スーパービジョン記録票（JECA 様式 S-4-1）
※当協会の様式で提出。受付期間内に提出できない場合は原則として受験不可。
- ⑤ 著作物1編（中級認定試験希望者。初級申請時に提出してあれば不要）
- ⑥ 研究論文2編（上級認定試験希望者）
- ⑦ 構成的グループエンカウンターリーダー養成ワークショップエクササイズ係担当証明
※上級認定試験希望者で、受験要件⑤Aを選択した場合
- ⑧ 標準カリキュラム中・上級を研修・学習したことがわかる資料（修了証等）※可能な限り添付して下さい

送付先： 〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15-3F
特定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会 認定委員会

6. 受験申込書の記入について

受験申込書は、「資格認定試験受験申込書（履歴書部分、JECA 様式 T-2）」と「資格認定試験受験申込書（受験票部分、JECA 様式 T-2-06）」から構成されています。それぞれの必要事項について、できるだけ詳細にご記入ください。

資格認定試験受験申込書（履歴書部分、JECA 様式 T-2）について

I 学歴追加分・II 資格追加分・V 研修歴追加分・VIII 講師歴追加分の記入

追加する履歴がある場合には、それぞれ記載すること。なお、記入欄が足りない場合には別紙に記入し、添付してもかまいません。

Ⅲ実践歴追加分・Ⅳ支部活動歴・Ⅵスーパービジョン・教育分析の記録・Ⅶ研究歴追加分の記入

Ⅲ実践歴については、前回認定を受けて以降の実践について記載してください。

Ⅳ支部活動歴は、日本教育カウンセラー協会の支部がある地区について、活動への参画状況を記入します（「企画・運営」、「会計」、「スキルアップ講座講師」など具体的に書いてください）

Ⅵスーパービジョン・教育分析歴は、中級・上級とも必須要件です。中級認定試験受験者で、初級認定時に要件を充たしていない申請者は、スーパービジョン記録票（JECA 様式 S-4-1）を1通添付してください。上級認定試験受験者は、2ケース分のスーパービジョン記録票の提出が必要です。（中級時提出1編含む）初級または中級申請時に充たしていない場合は、記載の上、添付してください。Ⅶ研究歴については、論文・著作物等を添付してください。中級認定試験受験者で、初級認定時に要件を充たしていない場合は、必ず添付をお願いします（発表済み・未発表を問いません）。上級認定試験受験者は、2通を添付してください（初級または中級申請時に記載してあるものでもかまいません）。

研修内容自己評価表について

研修内容自己評価表は、中級及び上級教育カウンセラー養成カリキュラムの細目がそれぞれ示されています。これまでの自身の教育・カウンセリングに関する学習を振り返り、これは学習したという項目に○をつけてください。

資格認定試験受験申込書（受験票部分、JECA 様式 T-2-06）について

受験区分欄については、今回受験を希望する資格に○をつけてください。

受験料払込受領書貼付欄には、受験料を払い込んだ際に渡される郵便振替払込請求書兼受領書の写しをのり付けし、現在の認定番号（7桁）を記入してください。

確認票・受験票部分については、受験区分に「中級」もしくは「上級」と記載し、名前を記入すること。また、写真貼付欄に4センチ×5センチの写真をはがれないようにのり付けしてください。なお、確認票の写真は、合格した場合IDカード用の写真として使用しますので、正面より撮影した写真にしてください（カラー・白黒いずれでもかまいません）。写真の裏面に名前を書くようにしてください。

7. 認定試験及び審査のスケジュール

7月19日	受験申込書受付締切日
7月26日	受験票発送（予定）
8月7日	教育カウンセラー資格認定試験当日
11月上旬	試験結果発送（予定）
1月下旬	認定証及びIDカード発送（予定）

8. 認定試験の出題範囲

筆記試験の出題範囲

教育カウンセラー養成カリキュラムに基づく4分野について、それぞれ多肢選択法および記述問題を出题する。

なお、教育カウンセラー標準テキスト（初級・中級・上級）のみ持ち込みを許可します。

実技・口述試験

実技試験について、基本的な課題は、以下のようになる。

中級認定試験 面接スキルについてロールプレイにより実技を通して中級教育カウンセラーとしての適性をみる。

上級認定試験 スーパービジョンに関する実技を通して上級教育カウンセラーとしての適性をみる。

口述試験は、試験官の質問に解答する。

9. 問い合わせ先

受験に関する問い合わせは、協会本部事務局にて受け付けます。

なお、認定委員会に確認してからの回答の場合、お時間を頂戴しますことご了承ください。

NPO 日本教育カウンセラー協会 事務局

電話：03-3941-8049 電子メール：jim@jeca.gr.jp

FAX：03-3941-8116

※書類審査の結果、受験をお断りすることがありますことご承知おき下さい。

認定試験受験申込書送付前のチェック項目

試験委員会にて書類をチェックする際、特に以下の項目に不備がある方が多くみられます。不備ある場合、受験ができないこともありますのでご注意ください。

□教育カウンセラーの資格更新および会費手続きがなされているか。

□申請書類に記載もれがないか

研修歴追加分や研究歴等該当欄への記載がない場合、資料が添付されていても、該当書類として扱いません。

研究歴の欄について、空欄の方が多くいらっしゃいますが、その場合研究歴は添付なしと見なされます。ご注意ください

□資料は添付されているか。

申請書類に記載されていても、資料添付がない場合該当書類として扱いません。

□スーパービジョン記録票が最低でも規定数分添付されているか。

提出書類には記録票を添付してください。メ切後の送付は原則として認めていません。

□著作物についての資料が添付されているか。

申請書類に記載されていても、著作物の添付がない場合、認められません。

上級認定試験の場合、特に、以下の点についてご注意ください。

①著作物の内容のコピーを添付する。

②公式の場で発表した場合、そのことがわかる資料の添付

例：主催団体、発表年月日、発表場所、大会テーマが印刷された資料、掲載された論文集の目次など

※ご自身の記録だけでなく、主催団体の概要がわかるパンフレット、要項や論文集など客観的な資料をお願いします。

□構成的グループエンカウンターリーダー養成ワークショップ、エクササイズ担当証明が添付されているか

※上級認定試験希望者で、受験要件⑤Aを選択した場合のみ